

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2021/8/18

■ID:D21004

■参加プログラム/Program: オンラインサマープログラム(各協定校主催)

■プログラム情報/Program info.: <http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2021/786-iarucourses2021-yale>

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-onlinesummer1.html>

■派遣先大学/Host university: イェール大学

■プログラム期間/Program period (MM/DD/YYYY): 6/7/2021 ~ 7/9/2021

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部教養学科・総合社会分科・国際関係論コース

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 4 年

■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:

テスト期間とかぶっていないからです。

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

元々は教授に憧れていたもので、このサマースクールはその教授の授業に参加できることで応募することに決めました。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

Yaleのサマースクールはかなり高度で課題や予習もかなり重いものです。特に自分が履修しているコースは1回につき、140ページくらいの英語の論文や判例と1時間ほどの動画があるので、1週間2回の授業なので、合計で毎週300ページ弱の論文と2時間くらいの動画の予習作業がありますかなり睡眠を削ってがんばりました。もしこのプログラムを履修したい場合、学校の授業が比較的負担が軽いセメスターにした方がいいと思います。

■プログラム外で行った交流活動をすべて教えてください/Activities you took part in other than this program:

特に何もしていない。

■プログラム外で行った交流活動について、具体的に教えてください/Details of the activities you chose in other than this program:/

オンラインでの参加でしたので。

■週末に課題はありましたか。また、予習や復習をしましたか/

ありました。週15時間の予習と復習がありました。

■プログラム実施時間帯(時差)について、ご意見をお聞かせください:

ちょうど良かった。

■プログラム日数(長さ)はいかがでしたか/

ちょうどよい。

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation :	
語学成績と、このコースに参加したい理由をきちんと考えと方がいいと思います。その上で、英語の文法が間違わないようにきちんとチェックした方がいいと思います。	
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :	
UTAS で手順に従って手続きを行いました。自分がなぜこのプログラムに参加したいのかをきちんと考えて、書いた方がいいと思います。	
■語学関係の準備/Language preparation :	
語学レベルは TOEFL107 点。単語をたくさん覚えることと日頃から英語の読解に慣れることと、パソコンでライティングを書くスピードを練習したほうがいいと思います。早めに語学のテストを取っておいた方がいいと思います。	

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :	
主催大学への支払い(授業料・プログラム料など) /Payment to host institution (tuition, Program fee.)	517,100 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
本プログラム参加にあたりオンライン環境整備に要した費用(Wi-Fi 等)/	0 円/JPY
■参加に要した費用について、その他、補足等/Additional comments :	

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate :	
受給した。	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
東大友の会	
■受給金額(月額) /Monthly stipend :	
493,395 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部国際交流課)からの案内(Go Global ウェブサイトや募集要項等含む)	

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :

結局憧れていた教授が残念ながら、授業開始前に亡くなったため他のコースに変えました。その点に関してそれほど満足のいくものではないものの、参加した授業でもとても勉強になりましたので大体は満足しました。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:

院進を欧米に決めました。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):

研究職, 公的機関

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants:

Yale のプログラムに参加したければ、語学力をきちんと鍛えた方がいいと思います。

■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during program:

Yale のホームページ、教授の個人ホームページ

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2021/8/12

■ID:D21008

■参加プログラム/Program: 【第二次募集】オンラインサマープログラム(各協定校主催)

■プログラム情報/Program info.: <http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2021/786-iarucourses2021-yale>

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-onlinesummer1.html>

■派遣先大学/Host university: イェール大学

■プログラム期間/Program period (MM/DD/YYYY): 7/12/2021 ~ 8/13/2021

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部(前期課程)文科一類

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 2 年

■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:

S セメスターのテスト期間が終わってすぐの時期に始まるので、学期中の勢いで一気に次の学習に突き込みたくてこの時期を選びました。

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

あんまり迷ったことがなく、イェールのプログラムに参加したく応募しました。どっちかという費用を支払う寸前に一瞬ためらいました。高いので。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:

毎回の授業の前に required reading があり、それを読んでから自分なりの質問を投げます。それらの質問は、授業で行うディベート・ディスカッションの進行に使われます。通常の講義に加えて、人権保護の実務分野で活躍してる UN 公務員や NGO 職員を誘って特別講義も行われました。全体としては、理論と実例がともに充実しており、授業中のディスカッションも毎回面白かったです。

■プログラム外で行った交流活動をすべて教えてください/Activities you took part in other than this program:

参加者同士(東大生含む)の連絡先交換, 参加者同士(東大生含む)と意見交換, 参加者同士(東大生含む)と予習や復習。

■プログラム外で行った交流活動について、具体的に教えてください/Details of the activities you chose in other than this program:/

大体そのコースを選んだ人は人権問題に関心があり、今話題になっている中国出身の私と議論したいという人が何人かいました。授業で扱われた内容や、中米両国で話題のトピックをめぐって意見交換を行い、大切な経験でした。

■週末に課題はありましたか。また、予習や復習をしましたか?

週3回というintensiveな進め方だったので、予習・復習のペースはかなり早かったです。書かせる課題は特に期末までなかったのですが、普段のrequired readingを読破するだけで大変な気がしました。

■プログラム実施時間帯(時差)について、ご意見をお聞かせください:

もう少し早い時間帯が良かった。

■プログラム日数(長さ)はいかがでしたか:

ちょうどよい。

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation:

語学の成績や高校の成績証明書などが必要でした。自分が留学生なので、母国の高校に成績証明書の発行を申請するにはかなり時間をかかったので、そちらの準備を早めにしたほうがいいと思います。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo:

確か成績の要件が一定程度であったと思いますが、具体的にはわかりませんでした。UTASを通じて申請を行うとき、志望理由などを書かせたので、申請に先立ちプログラムの内容などをあらかじめ確認したほうがいいと思います。

■語学関係の準備/Language preparation:

語学の成績は2年前に受けたTOEFLの成績を使いました。105/120の成績でしたが、ほぼ母語程度です。しかしその成績は期限切れ寸前で、かなりギリギリになっていたのが危なかったです。事前に成績の有効期限、そして再受験の準備をしたほうがいいと思います。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation:

主催大学への支払い(授業料・プログラム料など)/Payment to host institution (tuition, Program fee.)	500,000 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
本プログラム参加にあたりオンライン環境整備に要した費用(Wi-Fi等)/	0 円/JPY

■参加に要した費用について、その他、補足等/Additional comments:

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate:

受給しなかった。

■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships:

■受給金額(月額)/Monthly stipend:

■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend:

■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships?:

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :

自分としては「人権」という一見広すぎるテーマについて理解を深めたこととともに、現実と理論とのギャップを実感しました。特に、夏休みは母国の中国に住んでいたため、今世界中に話題になっているこの国に起きている様々な人権問題とその施策についてより深く考えるようになりました。それはそれで満足しています。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

やはり国際法が好きだ、という執念を固めました。また、母国の中国が国際社会と、どうやって接したらいいのか、という問いを考え始めました。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

研究職, 専門職(法曹・医師・会計士等)

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

見る世界が広がる一方で、じぶんの相対的な価値は下がりつつに違いない、そういう失落感ですが、それはそれで獲得ではあります。

■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during program :

特にありません。